

コロンビア政治情勢（9月分）

1 概要

【内政】

- 4日 政府・E L N間で相互一時停戦合意
- 4日 F A R Cによる新党設立のための全国集会及び党執行部による総会の開催
- 14日 緑の同盟からクラウディア・ロペス氏が大統領候補に選出
- 15日 F A R Cの隠し武器庫の処理期限の終了
- 22日 F A R C所有の武器回収
- 23日 和平特別司法制度（J E P）に係る判事の選出
- 26日 E L Nの石油パイプラインへの攻撃
- 29日 F A R C構成員リスト登録の締切り
- 30日 カウカ県ミランダ市で警察官が殺害される
- 30日 コロンビア軍がE L N幹部を殺害
- 大統領支持率

【外交】

- 4日 コロンビア外務省による北朝鮮の核実験に対する非難声明
- 6～10日 ローマ法王フランシスコの当国訪問
- 13日 ネタニヤフ・イスラエル首相の当国訪問
- 14日 オルギン外相のパナマ訪問
- 14日 国連総会でコロンビアの検証第二ミッションの決議承認（於：ニューヨーク）
- 18日 コロンビア外務省による北朝鮮の弾道ミサイル発射に対する非難声明
- 25日 オルギン外相のヨーロッパ諸国歴訪

2 本文

【内政】

1 政府・E L N間で相互一時停戦合意

4日、レストレポ（Juan Camilo Restrepo）コロンビア政府側和平交渉団長及び「パブロ・ベルトラン」E L N側和平交渉団長は、エスピノサ・エクアドル外相同席の下、和平交渉における最初の合意となる101日間の相互一時停戦（10月1日～明年1月9日）に合意した。

2 F A R Cによる新党設立のための全国集会及び党執行部による総会の開催

9月2～3日、全国集会で選出された111名の党執行部による第1回全国人民評議会（Consejo Nacional de los Comunes）総会が開催され、「ティモチェンコ」が全国政策評

議会議長、「イバン・マルケス」が政策部長、「パブロ・カタトゥンボ (Pablo Catatumbo)」が組織部長にそれぞれ選出された。

3 緑の同盟からクラウディア・ロペス氏が大統領候補に選出

14日、緑の同盟からクラウディア・ロペス氏が大統領候補に選出された。同氏は、約1年前から無所属のファハルド氏及びPDA党のロブレド氏と同盟構築に取り組んでいる旨表明した。

4 FARCの隠し武器庫の処理期限の終了

15日、FARCの隠し武器庫の処理期限が終了した（当初は9月1日までと定められていた）。国連コロンビア・ミッションは、998箇所ある隠し武器庫のうち、750箇所を処理した旨発表した。

5 FARC所有の武器回収

22日、クンディナマルカ県フンサ市で、サントス大統領の立ち会いの下、FARCが所有する最後の武器の回収が行われた。回収された武器は合計8,994丁となった。

6 和平特別司法制度（JEP）に係る判事の選出

23日、和平特別司法制度（JEP）に係る判事が51名（正判事38名、補欠判事13名）選出された。選出された51名の判事は、53年に亘る内戦で重大な罪を犯したFARC兵を裁く役割を担う。

7 ELNの石油パイプラインへの攻撃

26日、ELNはノルテ・デ・サンタンデル県及びアラウカ県の石油パイプライン「カニョ・リモン・コヴェニャス」を爆破し、損害を与えた。

8 FARC構成員リスト登録の締切り

リベラ和平高等弁務官は、FARC構成員リスト登録の締切りを発表した。これにより、新たな構成員の追加は不可能となる。リストに登録された構成員は和平特別司法制度（JEP）が適用される。1万4,178名が登録を申請し、80%にあたる1万1,345名が受理された。

9 カウカ県ミランダ市で警察官が殺害される

30日、「和平構築のための警察機関 (Union policial para la edificacion de la paz)」に所属しているFARC集住地域の治安維持を担当している警察官3名が凶弾に倒れた。FARC集住地域で警察官の殺害は初めてのことである。当局は、FARCまたはELN

離脱兵の犯行とみている。

10 コロンビア軍がELN幹部を殺害

30日、カサナレ県でコロンビア軍が通称「カロロコ (Carroloco) 」(ELN幹部)を殺害した。政府・ELN間で合意された相互一時停戦が開始されるわずか4時間前の出来事であった。

11 サントス大統領支持率 (括弧内は前回数値)

Datexco社：8月31日～9月5日実施，全国6地方 (対象900名 (電話))，誤差：±3.27%，信頼度95%

支持：20% (24%) 不支持：76% (73%)

【外交】

1 コロンビア外務省による北朝鮮の核実験に対する非難声明

4日、コロンビア外務省は、3日 (日本時間) の北朝鮮による核実験を国連安保理決議に対する重大な違反であるとして非難する声明を発出した。

2 ローマ法王フランシスコの当国訪問

法王フランシスコは、6～10日にコロンビアを訪問した。今次訪問は中南米歴訪でなく、コロンビア単独の訪問であり、滞在中はボゴタ、メタ県ビジャビセンシオ市、アンティオキア県メデジン市及びボリバル県カルタヘナ市に訪問した。

3 ネタニヤフ・イスラエル首相の当国訪問

ネタニヤフ・イスラエル首相が当国を初めて訪問し、サントス大統領と首脳会談及び閣僚を含む拡大会合を行った。両国は農業分野、水資源、科学技術・イノベーションの分野での協力、観光分野の強化、サイバー・セキュリティ、ポスト・コンフリクト協力等につき意見交換した。

4 オルギン外相のパナマ訪問

14日、オルギン外相は、パナマを公式訪問し、サイン・マロ副大統領兼外務大臣と会談した。また、閣僚級会合も実施され、コロンビア側からは、グティエレス商工観光大臣、サパタ鉱山エネルギー大臣、ロンドーニョ外務次官、ソト国防次官等が出席した。パナマ側からは、アロセメナ貿易産業大臣、ベタンクール治安大臣、インカピエ外務次官、サンチェス大統領府大臣代理等が出席した。

5 国連総会でコロンビアの検証第二ミッション決議承認（於：ニューヨーク）

14日、ニューヨークで開催された国連総会にてコロンビアの和平プロセスに係る検証第二ミッション決議2377が全会一致で承認された。同ミッションは、元FARC兵の社会への再統合プロセスを担っており、26日より開始される予定である。

6 コロンビア外務省による北朝鮮の弾道ミサイル発射に対する非難声明

18日、コロンビア外務省は、15日（日本時間）の北朝鮮による弾道ミサイル発射を非難するとともに、我が国及び韓国への連帯の意を表明する15日付声明を発出した。

7 オルギン外相のヨーロッパ諸国歴訪

25～29日、オルギン外相はヨーロッパ諸国を歴訪した。

（1）オランダ

25日、オランダを訪問したオルギン外相は、ブルメン外国貿易・開発大臣と会談した。同会談では、政府・FARC間の和平合意の履行プロセス、ポスト・コンフリクト期における協力及びオランダ農業関係者のコロンビア訪問等が議題に上がった。

（2）ベルギー

27日、ベルギーを訪問したオルギン外相は、タイヤーニ欧州議会議長と会談した。オルギン外相は、同会談で欧州議会のコロンビアに対するポスト・コンフリクト支援に感謝した。また、レンデレス・ベルギー外相とも会談し、ベルギーのコロンビアに対するポスト・コンフリクト支援に感謝するとともに和平合意履行の展望を説明した。

（3）トルコ

29日、トルコを訪問したオルギン外相は、チャヴシュオール・トルコ外相と会談した。トルコが実施しているコロンビアでの農業分野における協力、観光分野の促進及び二国間の貿易の重要性について話し合った。また、オルギン外相はコロンビアのOECD加盟に関するトルコの支援に感謝した。